

意思を伝えるく話す

今回の学習のポイント

- ① 仲間言葉とは？
- ② 言葉の意味は幅広い

仲間言葉とは？

みなさんは会話の中で、どのような言葉を使っていますか。ひと言に会話といっても、友達と話す、先生と話す、親や兄弟姉妹と話す……、さまざまなかかわりがあります。今回は、自分の気持ちを誤解なくしっかりと伝える（話す）ということについて学習します。

一、「仲間言葉」を使うメリット

人間関係が少しずつ作られ、親しい間柄になってくると、そのような間柄でだけ通じるような言葉を使うことがあります。「仲間言葉」と言われるものですが、なぜ、このような言葉が使われるのか、仲間言葉を使うことによる効果はどんなことなのでしょう。

「仲間言葉」を使うことで……

● 同じ集団に所属していることを確かめ合え、友達同士の結びつきを強く感じられる。

● 結びつきが強ければ強いほど意味がよく伝わり、共感し合うことができる。

二、「仲間言葉」を使う注意点

友達同士で使っている言葉を親にも同じように話してみたら、まったく伝わらない、といったことはありませんか。

また、たとえばある集団でAさんが「仲間言葉」を使い、Bさん、Cさんにはよく理解してもらえたけれども、Dさんには意味が伝わらなかったとします。仲間内の言葉が理解できたAさんBさんCさんは内容を共有でき会話もはずみまです。しかし、Dさんだけは会話についていけない……。こんなとき、Dさんは少し孤立してしまった気分になるかもしれません。

このように、相手との関係を保って意思を正確に伝え合うためには、「相手に通じる言葉」を選ばなければなりません。

国語監修・執筆

中澤匠吾

言葉の意味は幅広い

言葉は時とともに変化していくものです。その意味も変わっていきったり、増えていきったりすることもあります。そのため、親しい人や特定の関係ができていくグループであれば共通の意味で理解できることであっても、そうでない人には正確に意味が伝わっていないということも考えられます。

【発展1】

「やばい」という言葉について

「やばい」は「あぶない」「都合が悪い」という意味を表す俗語で、江戸時代、盗人などの間で使われていた「やば」という隠語に由来しています（ですからここでは、使うことはあまりおすすしません……）。しかし、現在は特に若い世代の間で、「やばい」の意味は拡大して使われています。以下の場合、どんな意味を表しているのでしょうか。

「この肉、やばいね。」

↓ 由来からすると、「肉の質が悪い、ひどい味だ」という意味で理解できますが、今はむしろ「とても美味しい」という意味を伝えるために使われることも多いようです。良くも悪くも程度が「ものすごい」ことを表すときに広く使われます。

【発展2】

「微妙」という言葉について

「微妙」は、「言葉にはしにくい美しさや良さ」「ひとことで言い表せない複雑さ、細かさ」などを表す言葉ですが、【発展1】の「やばい」同様、意味に変化も生まれているようです。次の場合、どんな意味を表していると思いますか。

「この肉、微妙だね。」

↓ 「何ともいえないおいしい味わい、細やかな味わい」を意味するというよりは、「何だかあまりおいしくない」「期待したほどでない」というような、否定的な意味で理解するという人も多いのではないのでしょうか。

一見すると、幅広い意味で使えて便利な言葉ですが、誤解なく正確に意思を伝える表現としては適切とは言えません。「やばい」「微妙」で簡単に済ませない、細やかな言葉選びも大切なことです。

まとめ

日常会話では、あまり形を意識することなく言葉を発していると思います。親しい関係であればくだけた調子で話し、仲間同士だからこそ理解し合える言葉を使うことも多いのです。それは、より豊かで楽しいコミュニケーションを生み出すことにもつながります。

しかし、ふだん使っている言葉が、いつでもだれにでも伝わるとは限りません。自分の気持ちや伝えたいことを正確に伝えるためには、「通じ合える言葉」を選んでいく必要があるということも意識してください。